

活動名	エジプトE-JUST・日本・アフリカ科学技術イノベーションネットワークプロジェクト
-----	---

貢献・連携類型	3. 国際連携
---------	---------

報告者	航空宇宙工学科	学科	職位	准教授	氏名	山崎 政彦
-----	---------	----	----	-----	----	-------

概要（実施したこと、進捗状況等）について記述してください。

本活動は、日本とエジプトを中核として、アフリカ諸国の科学技術教育・研究を支援する国際的ネットワーク形成を目的とするプロジェクトである。JICAの支援のもと、E-JUST (Egypt-Japan University of Science and Technology) を拠点に、日本の大学・研究機関が協力し、アフリカ地域の高等教育と技術人材育成、研究の強化を進めている。

2025年度は、同プロジェクトの一環として超小型衛星教育プログラム（HEPTA-SATトレーニング）をE-JUSTで開催し、エジプト、ルワンダから大学教員・研究者・学生が参加した。本プログラムでは、人工衛星システムの設計から運用までを実践的に学ぶことを通じて、参加者が自国で衛星教育・研究を展開できる能力を養うことを目的とした。講義、実習、チームプロジェクトを通じて、衛星工学・システム工学・教育工学を融合した学習機会を提供した。また、E-JUST学内およびJICA関係者との意見交換を行い、今後のアフリカ各国への展開計画や人材交流・研究連携の枠組みについて協議を進めた。プロジェクト活動は順調に進行しており、ネットワーク参加大学との協働体制が拡充しつつある。

今後の展望、本活動で得られた成果を記述してください。

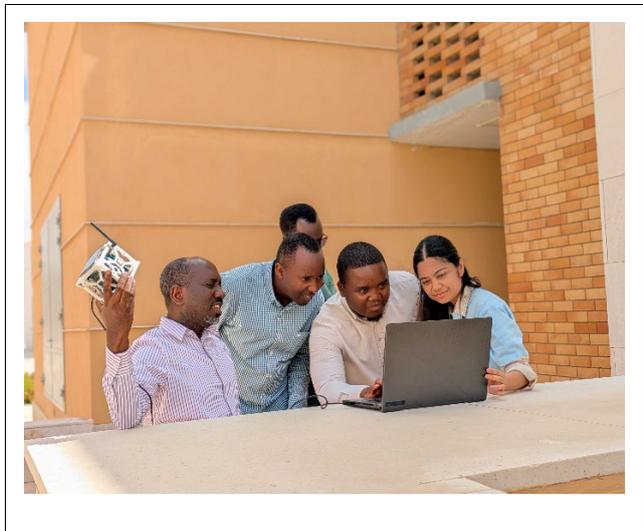
本活動により、日本とエジプトを結ぶ科学技術教育の国際連携基盤が強化され、アフリカ諸国の教育機関との協働体制が具体化した。今後は、E-JUSTを中核拠点として「宇宙教育・イノベーションネットワーク」を形成し、アフリカ各国の大学での共同教育プログラム、衛星開発実践プロジェクト、データ解析・地球観測研究などへの展開を予定している。また、日本大学としては、これらの国際連携を通じて教育・研究の知見を社会へ還元し、地域・国際双方での科学技術人材育成および産学官連携の促進に貢献していく方針である。本プロジェクトは、日本の高等教育が世界の科学技術イノベーションを支えるネットワーク形成に寄与する実践例であり、今後も継続的な協力を通じて、持続可能な開発目標（SDGs）達成にも資する活動として発展させていく予定である。

対象・相手先	アフリカの学生・教職員
--------	-------------

協定書・依頼の有無（具体的に記入）	主催・協力：JICA、E-JUST、NPO法人大学宇宙工学コンソーシアム、日本大学
-------------------	---

実施日時	2025/9/4-9/12
------	---------------

場所	エジプト・日本科学技術大学
----	---------------



本学からの参加者
航空宇宙工学科：山崎政彦， モンダル・デブルパ

